

別冊 参照指標①

○サービス提供体制

参照指標

■サービス提供体制

受給率抜粋【策定委員会用】第6次ほくとゆうふうふれあい計画作成のための地域分析・検討結果記入シート

記入日令和元年11月25日

保険者名北杜市

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値												全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)	関連する「取組と目標」や事業等			
				自保険者					都道府県平均			全国平均			比較地域(斐崎市)								
				現状分析		実行管理			H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28							H29	H30
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	3.2	3.2	3.2	96.7	※施設サービスの利用者数の対計画比	3.2	3.2	3.2	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6	施設サービスは全国平均より高く、山梨県平均と同様。	・人口10万人あたりのサービス提供事業所数を地域間比較すると施設は全般に全国平均、山梨県平均より高い。	・広域型特養が充実しているが、介護離職ゼロ及び特養待機者解消に向けた基盤整備の必要性について、議論する必要がある。	基盤整備計画	なし。	
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	0.1	0.3	0.3	82.7	※居住系サービスの利用者数の対計画比	0.5	0.6	0.6	1.2	1.2	1.3	0.5	0.5	0.5	・施設サービスが充実しているのではないかと。	・同様に、居住系は全般的に低い。	・地域包括ケアの中核となる定期巡回、小規模多機能、看護小規模多機能の経年変化を分析し、基盤整備の必要性について、議論する必要がある。			
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	5.8	6.3	6.7	108.5	※介護予防支援・居宅介護支援の利用者数の対計画比	9.9	9.6	9.6	10.5	9.9	9.6	8.7	8.4	8.4	・居住系、在宅サービスは全国平均、山梨県平均より低い。	・同様に、在宅は訪問リハ、通所介護、短期入所(老健・病院)、定期巡回、認知症デイ、小規模多機能、看護小規模多機能が高い。	・認知症高齢者数も毎年増加しているため、グループホームの必要性について、議論する必要がある。			

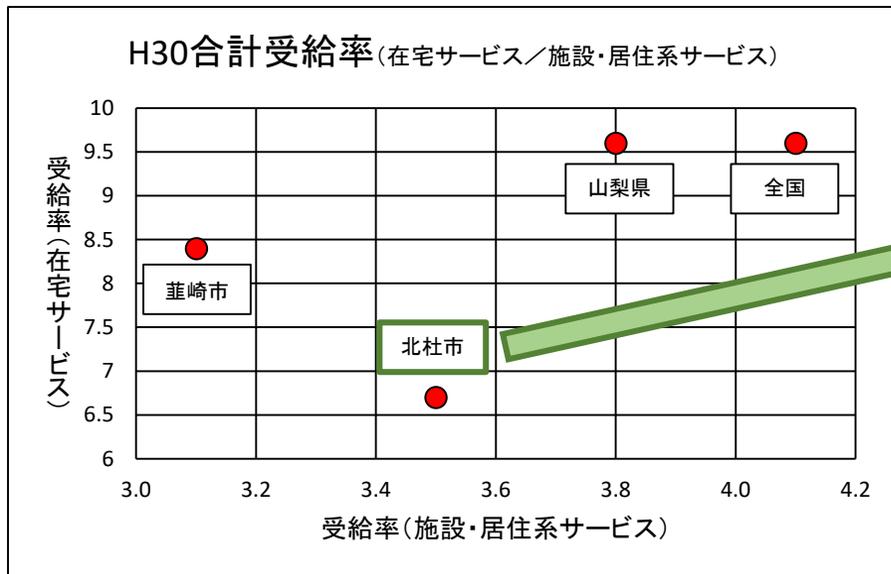
参照指標

■サービス提供体制

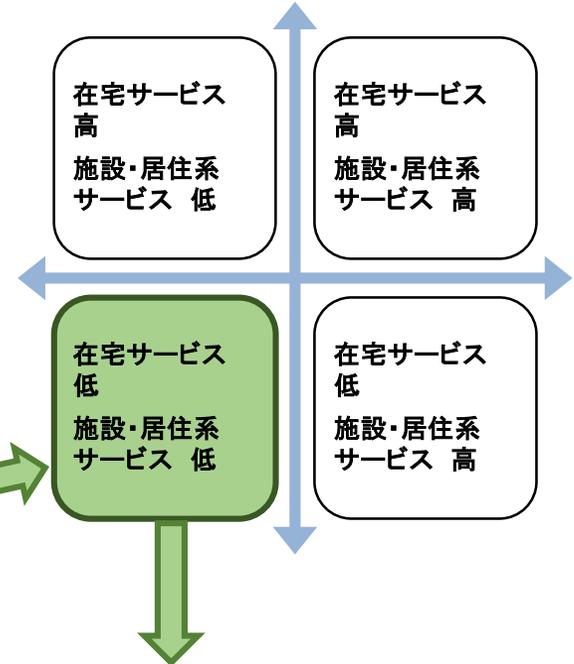
●介護サービス基盤整備の検討

○受給率(サービス系列別)を確認し、サービスの偏りの有無を確認する。

H30	合計受給率(施設・居住系サービス)	合計受給率(在宅サービス)
北杜市	3.5	6.7
韮崎市	3.1	8.4
山梨県	3.8	9.6
全国	4.1	9.6



在宅系、施設・居住系のバランスを確認



仮説の設定	確認・検証方法	対応策
要介護者のニーズを満たしているか	要介護者1人あたり定員	不足しているサービスの充実
長期入院等が介護サービスを代替していないか		定期巡回、看多機等中・重度者の在宅生活を支えるサービスの充実
家族等に過度な負担がかかっていないか	在宅介護実態調査	家族等への支援を強化

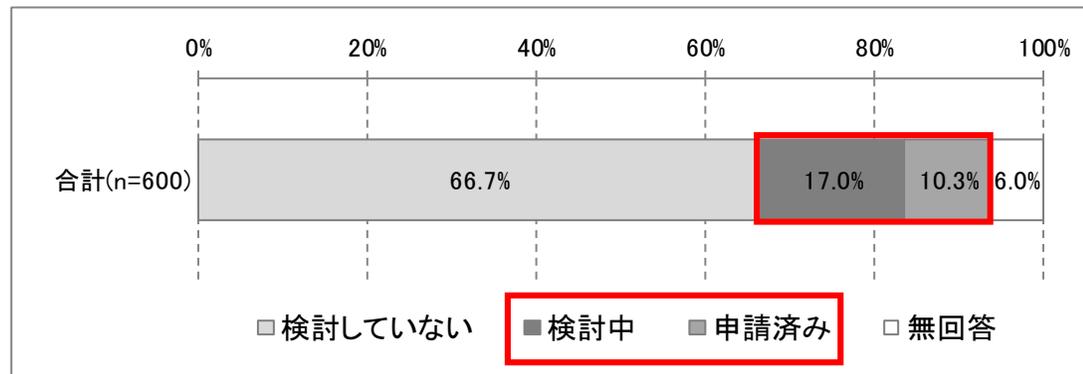
参照指標

■ サービス提供体制

【仮説】 家族等に過度な負担がかかっていないか
【確認・検証方法】 在宅介護実態調査分析結果報告書

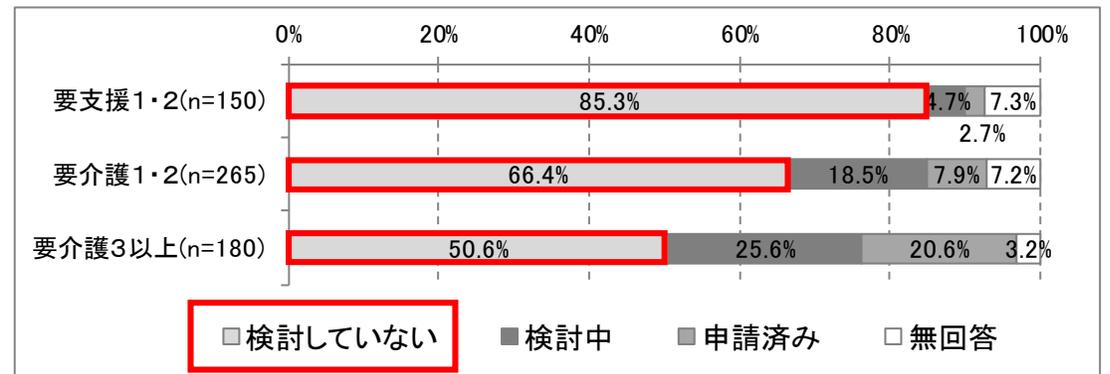
施設等の検討状況

図表1-1 施設等検討の状況



施設等の検討状況

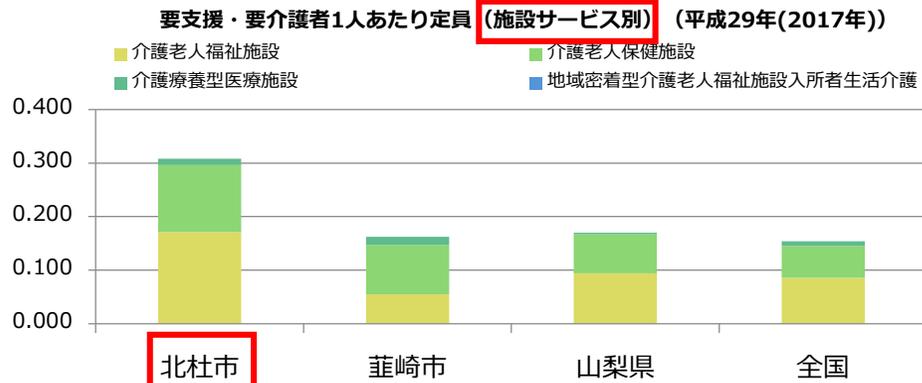
図表1-2 介護度別・施設等検討の状況



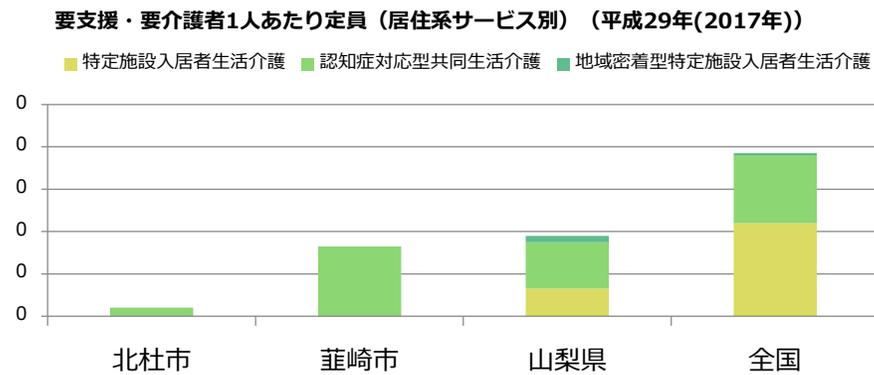
参照指標

■ サービス提供体制

【仮説】 要介護のニーズを満たしているか
 【確認・検証方法】 要介護者1人あたり定員（見える化）

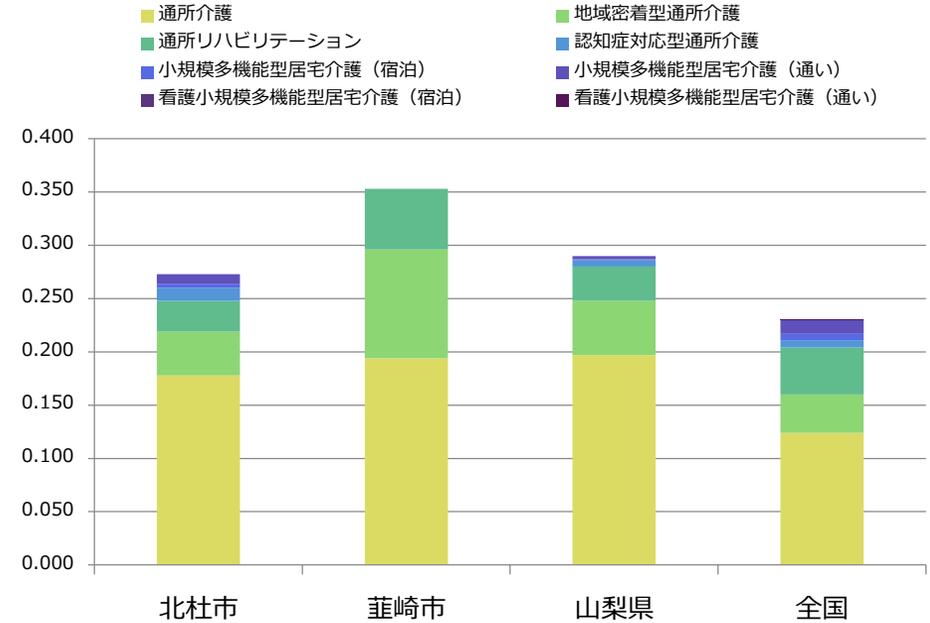


（時点）平成29年(2017年)
 （出典）介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報



（時点）平成29年(2017年)
 （出典）介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

要支援・要介護者1人あたり定員（通所系サービス別）（平成29年(2017年)）



（時点）平成29年(2017年)
 （出典）介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

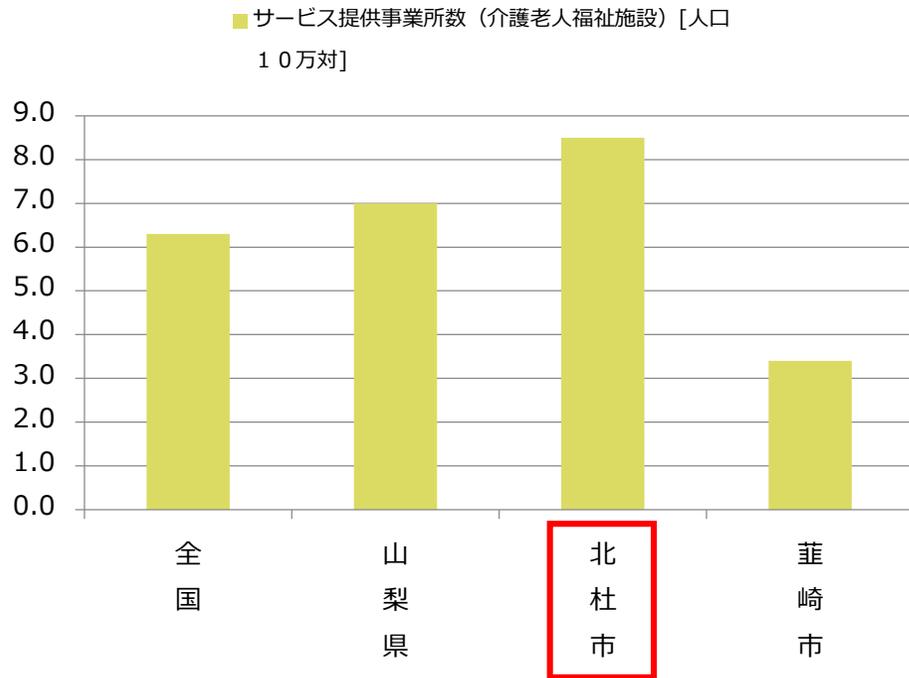
参照指標

■ サービス提供体制

【仮説】 施設サービスが充実しているのではない

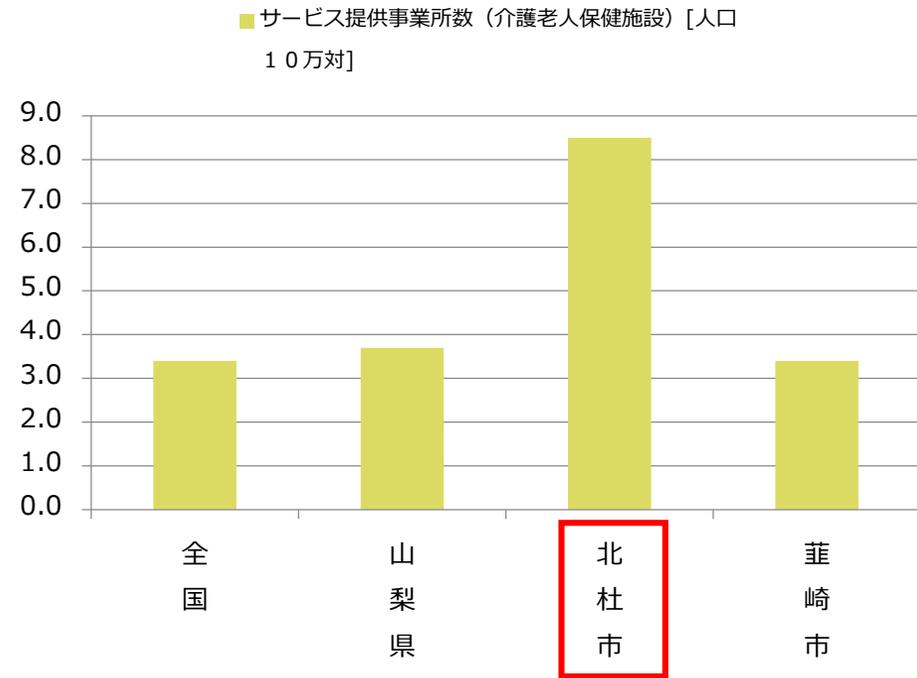
【確認・検証方法】 人口10万人あたりの主なサービス提供事業所数(見える化)

サービス提供事業所数(介護老人福祉施設) (平成30年(2018年))



(時点) 平成30年(2018年)
(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

サービス提供事業所数(介護老人保健施設) (平成30年(2018年))



(時点) 平成30年(2018年)
(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

参照指標

■サービス提供体制

【仮説】 家族等に過度な負担がかかっていないか

【確認・検証方法】 特別養護老人ホーム申込者数調査(要介護3～5) 平成31年4月1日現在

山梨県特別養護老人ホーム入所申込者数調査結果(要介護3～5)

市 町 村 名	入所申込者数	在宅 4・5
甲 府 市	999	281
韭 崎 市	194	35
南アルプス市	366	103
北 杜 市	410	128
甲 斐 市	304	70
中 央 市	140	35
昭 和 町	20	5
中 北 圏 域	2,433	657
山 梨 市	339	88
笛 吹 市	359	106
甲 州 市	244	49
峡 東 圏 域	942	243
市 川 三 郷 町	111	33
富 士 川 町	124	38
早 川 町	6	1
身 延 町	152	35
南 部 町	55	9
峡 南 圏 域	448	116

市 町 村 名	入所申込者数	在宅 4・5
富 士 吉 田 市	272	63
都 留 市	211	49
大 月 市	192	63
上 野 原 市	134	49
道 志 村	4	1
西 桂 町	36	3
忍 野 村	10	2
山 中 湖 村	4	0
鳴 沢 村	15	5
富 士 河 口 湖 町	141	33
小 菅 村	0	0
丹 波 山 村	0	0
富 士 ・ 東 部 圏 域	1,019	268
県 合 計	4,842	1,284

北杜市特別養護老人ホーム入所申込者数調査結果(要介護3～5)

待機場所	要介護3	要介護4	要介護5	総計
在宅	116	82	46	244
介護老人保健施設(老健)	21	19	19	59
病院・診療所(介護療養型)	2	1	4	7
病院・診療所(医療療養型)	14	13	8	35
病院・診療所(療養型以外)	6	6	2	14
養護老人ホーム	1	0	0	1
認知症グループホーム	4	2	0	6
他の特別養護老人ホーム	0	1	0	1
サービス付き高齢者向け住宅	9	5	3	17
その他	10	2	0	12
不明	4	7	3	14
総計	187	138	85	410

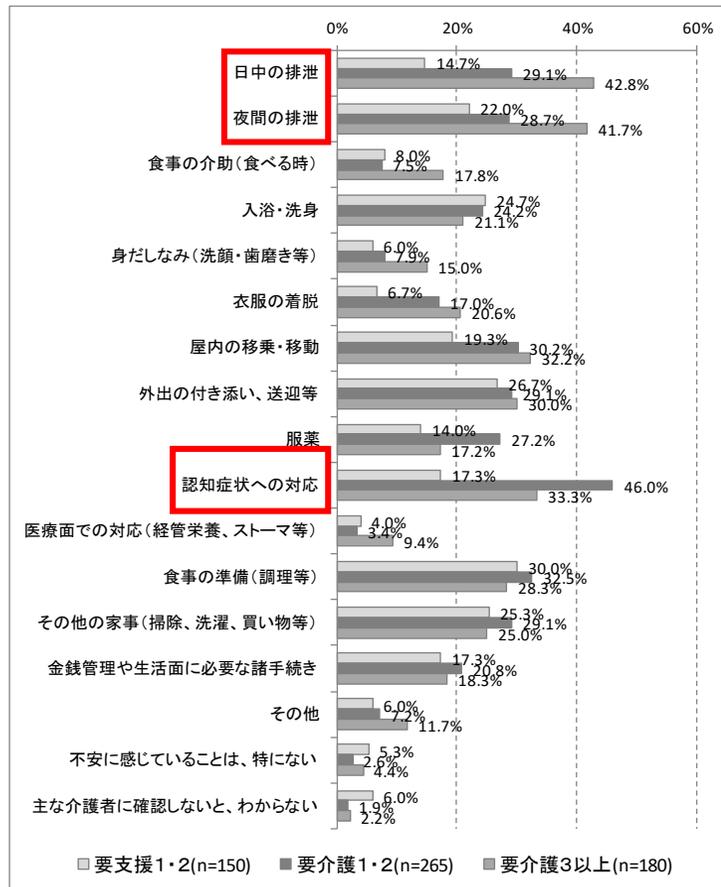
参照指標

■ サービス提供体制

【仮説】 家族等に過度な負担がかかっていないか
 【確認・検証方法】 在宅介護実態調査分析結果報告書

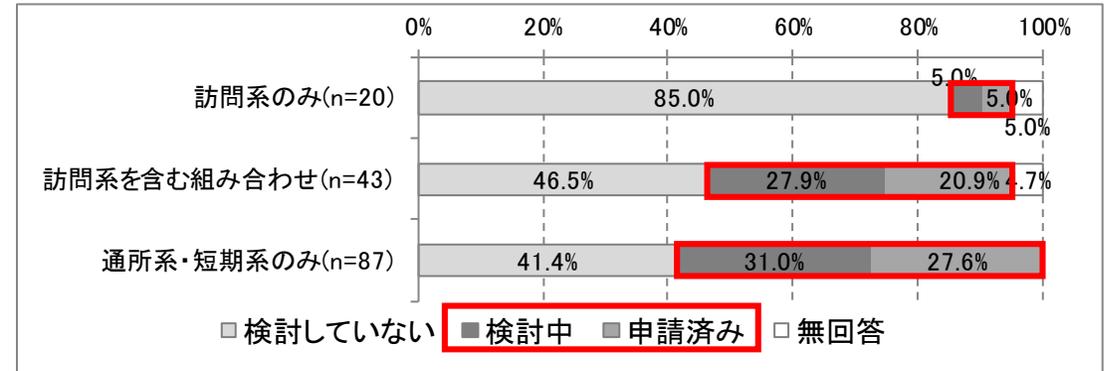
主な介護者が不安に感じる介護

図表1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護

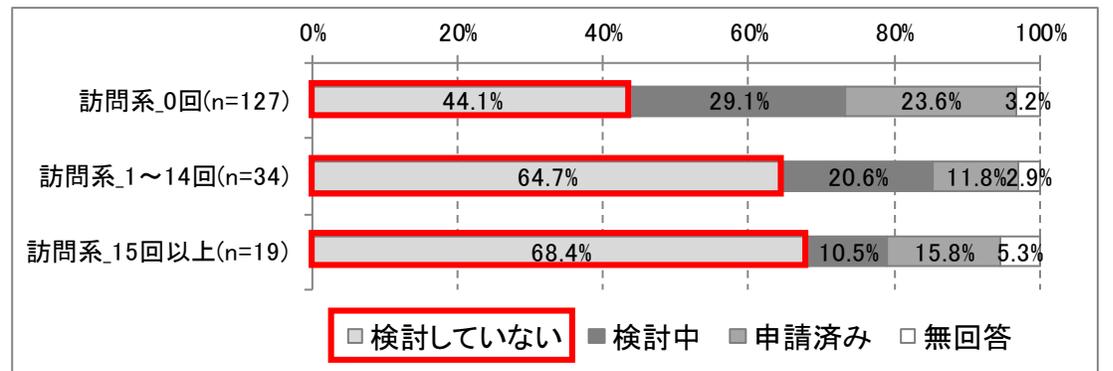


施設等の検討状況

図表1-10 サービス利用の組み合わせと施設等の検討状況(要介護3以上)



図表1-18 サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)



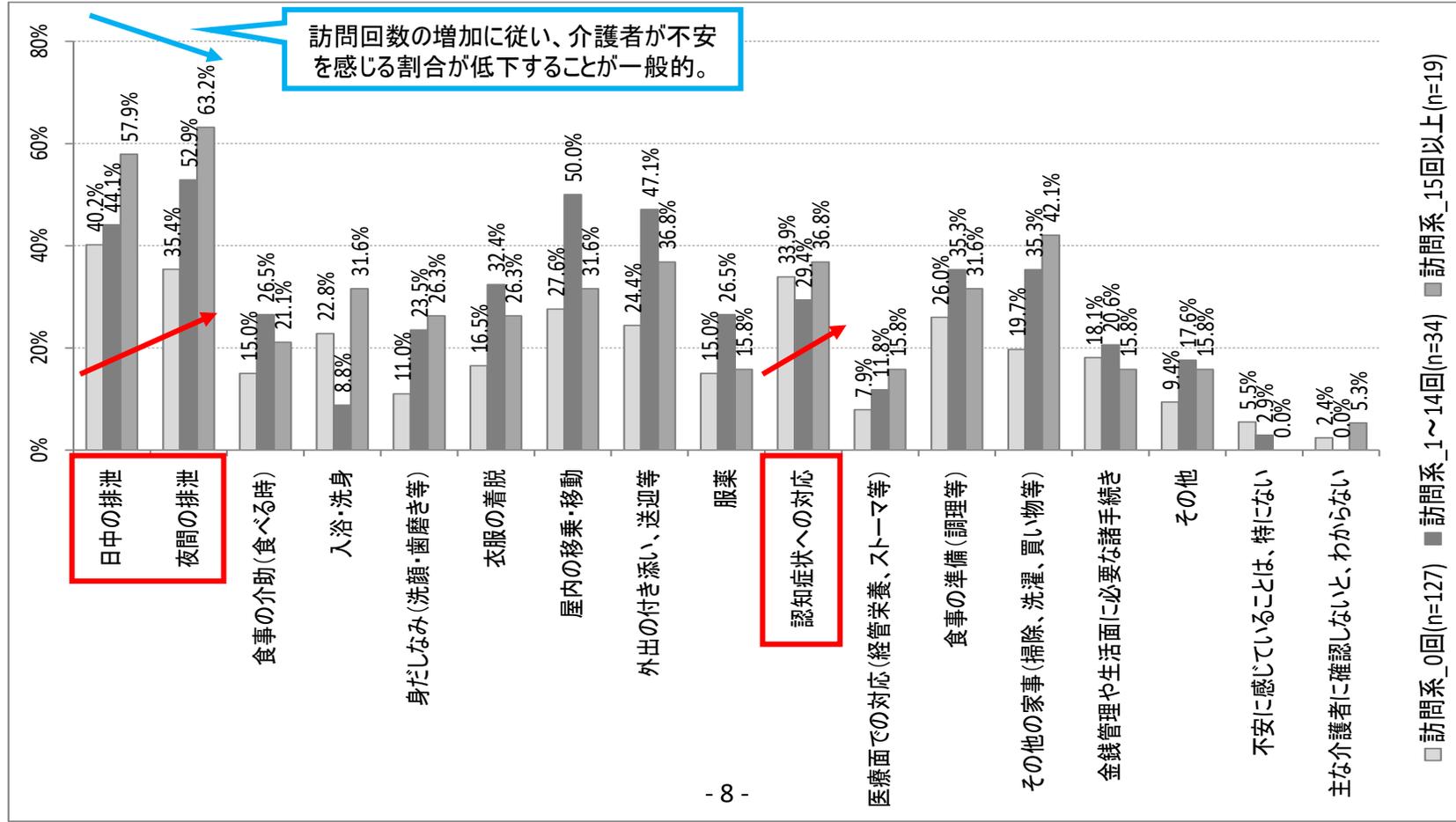
参照指標

■サービス提供体制

【仮説】 家族等に過度な負担がかかっていないか
 【確認・検証方法】 在宅介護実態調査分析結果報告書

主な介護者が不安を感じる介護

図表1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



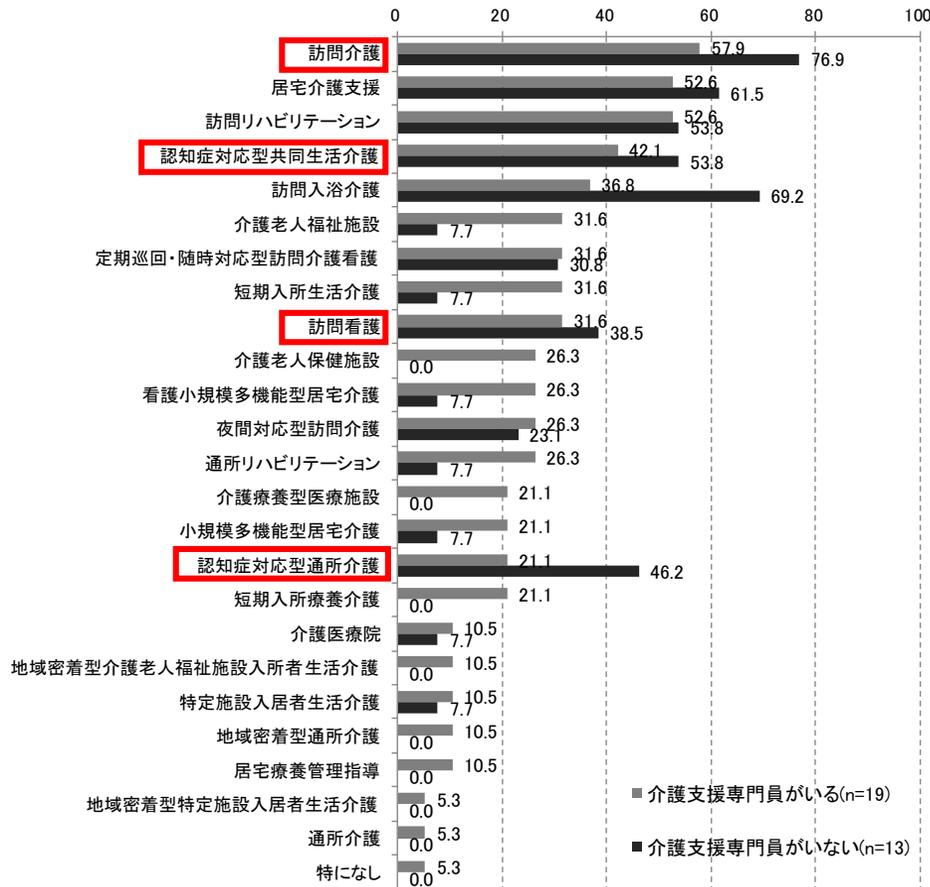
参照指標

■サービス提供体制

【仮説】 居住系、在宅サービスが不足していないか
 【確認・検証方法】 介護事業所調査報告書

量的に不足していると感じるサービス

図表33 介護支援専門員の在籍有無別 量的に不足していると感じるサービス (%)



量的に不足していると感じるサービス

図表34 介護支援専門員の在籍有無別

今後在宅生活を支えるため市内で充足が必要と感じるサービス

